

**E-Post MailServer (x64)**純国産の高性能
Windows対応メールサーバ

仕様表はこちらから

**E-Post SMTPServer (x64)**高性能SMTPゲートウェイ
Windows対応SMTPサーバ

仕様表はこちらから

**E-Post Secure Handler (x64)**インバウンドの安全なメールのみ通す
セキュアなメールゲートウェイ**E-Post BossCheckServer (x64)**メール誤送信目的を兼ねた
メール上長承認システム

E-Post Mail / SMTP Server (x64) シリーズ標準搭載ツール・ユーティリティ

E-Post LogAnalyzer(x64)ログ解析・集計ツール・
メールボックス使用量警告メール機能**E-Post Web管理ツール[CGI]**

Web管理ツール

E-Post Mail / SMTP Server (x64) シリーズ用 無償オプション[サポート2掲載]

E-Post Journal Option(x64)

簡易アーカイブ機能・メールバックアップ

Getattach[CGI]添付ファイルの分離・取得とWebサーバからの
ファイルダウンロードを有効にするCGIツール**EPSTDMARC**送信ドメイン認証(DMARC/DKIM/SPF/ARC)
アドオンツール**EPSTDKIM**

送信ドメイン認証(DKIM)アドオンツール

GETSPF

送信ドメイン認証(SPF)アドオンツール

E-Post Mail / SMTP Server (x64) シリーズ用 有償オプション

E-Post LGWAN Option(x64)LGWAN・インターネット併用環境でメール送信時や
受信時に自動的にドメイン名付け替えを可能にする
オプション

その他

E-Postシリーズはサーバ製品のため、Webメールクライアント機能は搭載していませんが、オープンソースの日本語対応WebメールソフトであるRoundcube WebmailやRainLoopについてインストールガイド・ユーザーズガイドを独自に作成、サイトに公開しております。

ライセンス認証について

「ライセンスキー」を入力して、ライセンス登録を行う際、80番ポートを使って弊社認証サーバとの間で通信が行われます。通信は、Windowsのインターネットオプション設定を参照します。閉じられたイントラネット環境で、Standard版をご利用になる場合でも、初回のライセンス登録時だけは、インターネット接続環境で認証していただく必要があります。ライセンス登録時でさえもインターネットに接続できない環境でご使用開始せざるを得ない場合は、作業員が赴き、手動でライセンス登録する、いわゆるアクティベーション作業を承ります。こちらは有償(首都圏以外は交通費別途)にて承っております。依頼される場合は、弊社営業担当までご相談ください。
また、Enterprise II版では、ウイルスパターンファイル更新時にHTTPプロトコルを使用して通信が行われるため、インターネット接続環境が前提です。

動作推奨環境

対応OS	Windows Server 2016 / 2019 / 2022
CPU	推奨: Xeonコア相当のCPU 2GHz以上
HDD	Enterprise II版はプログラム領域として100MB以上、Standard版はプログラム領域として20MB以上、加えてユーザーメールボックスおよびメール作業領域として必要な空き容量
メモリ	最低: 2GB以上 推奨: 4-8GB以上

開発・販売元

株式会社イー・ポスト〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-33-14 サンフラワービル
TEL: 03-5272-5386 FAX: 03-6856-9729<https://www.e-postinc.jp>問合せは sales@e-postinc.jp

Windowsメールサーバソフトウェアシリーズ

E-Post MailServerメールサーバ/SMTPゲートウェイサーバ
標的型メール攻撃防御セキュアメールゲートウェイ**安定した稼働実績**

独自のクラスタ校正により連続稼働を実現します。

安全を重視したセキュリティ対策

スパムフィルタ、ウイルスチェック、標的型メール攻撃対策機能を搭載し、メールの安全を図ります。

安心の充実サポート

純国産ソフトですので、日本語でのサポートやWebによる豊富なドキュメントを活用できます。また国内のメール環境に即座に対応します。

GUIによる簡単操作

ウィザードによる簡単インストール&設定。サーバソフトとは思えない簡単設計です。

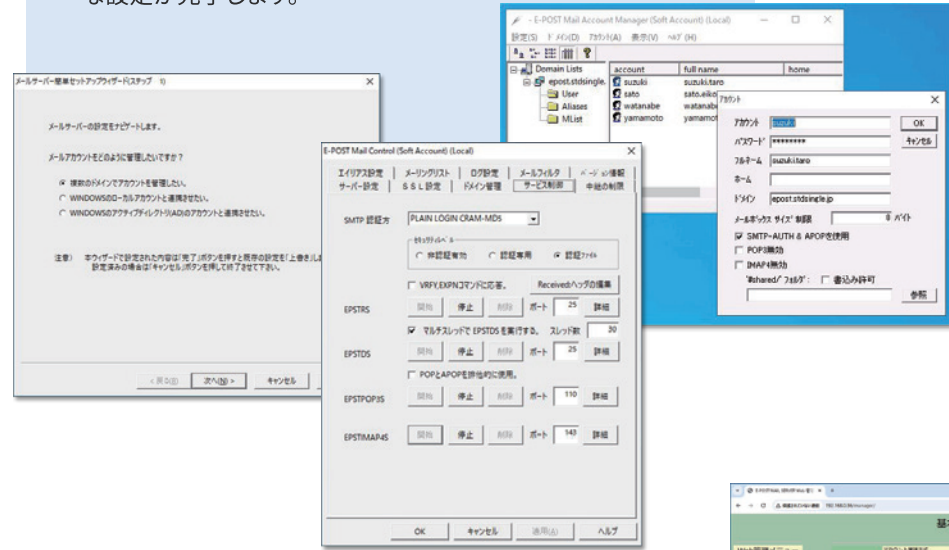
抜群のコストパフォーマンス

オンプレミス型なのでトータルコストの削減に寄与します。

E-Post MailServer (x64)

簡単設定ウィザードを用意

メールサーバの設定は初めてで、やはりむずかしいという方に、簡単設定ウィザードが用意されています。インストール後、6つのステップの質問に答えるだけで標準的な設定が完了します。



Web管理ツールが付属

メールサーバマシンにWebサーバを立て、付属のCGIプログラムを設置すれば、Web経由で遠隔地からでも管理・運用が可能になります。主要なインタフェース画面は、HTMLで記述されていますので、HTMLの加工により、必要な項目を絞り込む方法でカスタマイズ可能です。たとえば、ユーザーが自分のパスワードを変更するための画面が用意できます。

マルチドメイン・IPv6対応

SMTP/POP3/IMAP4各プロトコルとも、マルチドメインが1つのIPアドレスにて構築可能です。最大512ドメインを1台のサーバ上で管理できますので、IPアドレスの割り当てが少ない環境でも有効にメールシステムを構築運用できます。さらに、IPv4アドレスの枯渇問題にも安心のIPv6対応です。

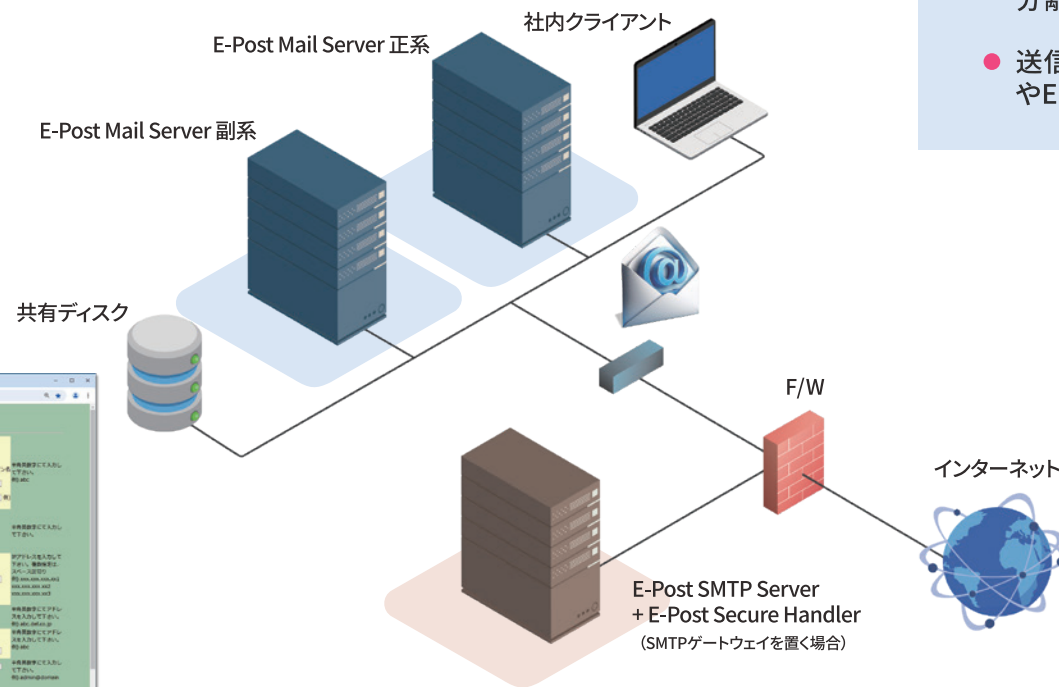
冗長化による連続稼働が可能: クラスタモデル版

アクティブ・スタンバイ方式によるHAクラスタ構成でメールサーバ冗長化が可能です。HAクラスタ方式は、オリジナルのE-Post方式のクラスタ構成か、Windows 2016/2019/2022に装備されているMSFC(Microsoft Failover Cluster)方式のフェールオーバークラスタ構成のいずれも可能です。万が一、メールサーバのシステムダウンが発生しても、もう一台のメールサーバが自動的に引き継ぎ、メールのSMTP受信と送信・POP3/IMAP4受信を継続するので、ダウンタイムの影響を最小限に食い止めます。

64bitネイティブ対応版 E-Post(x64)シリーズ

E-Post Mail Server(x64)シリーズは、メールサーバソフトの64bitネイティブ対応版です。Windows Serverも64bit環境が大前提の時代、今後もより長く安心して導入いただけます。

システム構成例 (クラスタ構成の場合)



不正中継対策・スパムメール対策

不正中継の踏み台対策やスパムメール対策として、さまざまな拒否機能を用意しています。さまざまな拒否機能を効率よく組み合わせ、不正中継対策や、スパムメール対策を行うことが可能です。IPアドレス・メールアドレス・カーボンコピー制限・メールサイズ制限・ORDB参照(DNSBL方式による判定)、メールフィルタ・SURBL/URLBL方式による判定、など。ちなみに、ORDB参照(DNSBL方式)機能は「中継の制限」画面に組み込まれ、SURBL/URLBL方式サイトの参照機能は、メールフィルタ機能の一部として実装されています。

総当たり攻撃へのセキュリティ対策「接続ロックアウト」機能

総当たり攻撃へのセキュリティ対策を強化するため、SMTP認証・POP3認証・IMAP4認証での接続時に「接続ロックアウト」機能が実装されました。SMTP認証・POP3認証・IMAP4認証での接続時に総当たり攻撃を受けたとき、設定回数で接続をロックアウト、攻撃をブロックします。設定期間中SMTP/POP3/IMAP4の各サービスはそれぞれ、該当IPアドレスからの接続を拒絶し強制切断します。この機能により、特定のIPアドレスから繰り返される「総当たり攻撃」に対して接続を自動的に遮断できるため、サーバーの負荷を高めずに対策を行うことができます。

PPAP代替機能や送信ドメイン認証DMARC対応ツール等を用意

E-Postシリーズでは以下のようなオプション機能やアドインツールを標準で用意、ユーザー専用サイト「サポート2」より無償でダウンロード可能です。

- E-Post Journal Option 追加により簡易メールアーカイブ機能を実現できます。
- Getattach(CGI)プログラムを設定することで、PPAP代替として「添付ファイル分離配送&ファイル受信通知[メールストレージ]」機能が可能になります。
- 送信ドメイン認証(SPF・DKIM・DMARC・ARC)アドインツールEPSTDMARCやEPSTDKIMを用意。Gmailなどのメール受信ルール厳格化に対応できます。

高速配信・安定性抜群の送信エンジンを搭載

メールマーケティングツールに利用できる数十万通のメーリングリスト配送にも余裕の送信エンジンを搭載。自社内に得意先への案内メールシステムとしてメールマーケティングツールとして活用できます。

Active Directory連携機能

ユーザーアカウントについては、Active Directory連携が可能になっており、Active Directoryサーバで管理されているユーザー情報のうち、MailGroupとして設定されたユーザーをそのままメールアカウントとして連携させて利用することが可能です。

メールボックス容量の使用状況表示とユーザーへの警告メール機能

多くのユーザー様から要望の多かったメールボックス使用料の使用状況表示機能と、ユーザーへの警告メール機能が付属ツールのE-Post LogAnalyzerに追加されました。メールボックスサイズ制限を全体もしくはユーザー個別に設定しているとき、管理者はメールボックス使用状況を確認できます。また設定したしきい値を超えたユーザーに対して警告メールを自動送信する設定も可能です。

アンチウイルスエンジン搭載: Enterprise II 版

メールサーバにアンチウイルス機能が搭載されたEnterprise II 版では、ファストスキャン製アンチウイルスエンジンを搭載。独自の国産エンジンにより随時更新される約36万種のウイルス情報を利用したスキャンマッチングを行い、強力にメールデータのウイルスチェックを行います。アンチウイルス機能が不要の場合は同機能が搭載されていないStandard版をお求めください。